

## 気になっていること

公益社団法人 熊本精神科協会 理事 和田 冬 樹

巻頭言の執筆のご依頼が参りまして、なかなか筆が進まず思案しておりましたが、気になっている二つのことを述べさせて頂くことにしました。

まずは地域移行支援に関してですが、近頃は患者さんやご家族に納得して頂ける住み心地の良い社会復帰施設が増えたと思う。数だけでなく質の面でも大きな変化がある。一昔前だったら、施設内で何か問題があればすぐに精神科病院へ丸投げされてきたが、この頃は入院しなくて済むよう一所懸命努力されている施設側の姿勢に驚かされる。我々精神科病院側も、万が一施設側から緊急の相談があれば入院も含めて機敏に対処し応えねばならないと思う。「3ヶ月経たないと入院出来ません」という言い訳をしばしば耳にするが、医療人として恥ずべき言い訳であり経営主義が陥りやすい陥穽の一つである。統合失調症の入院患者さんは今後10年間で17万2千人から12万4千人へ激減すると推計されている。約60%が60歳以上（平成26年統計）で、精神科病院内では年々高齢化が進んでいる。長きに亘って服用を余儀なくされた多剤併用療法の影響や様々な合併身体疾患の影響もあって、一般人口に比べ10～25年も短命である。これからの地域移行支援には、これまで以上の医療／介護のきめ細かな多面的サポートが求められる。退院が狙上に載るとご家族から強い懸念や不安を表明されることがある。話し合いを重ねて行く中で、家族であるが故に引き受けざるを得なかった苦悩の歴史が語られる。ご家族の不安や懸念は、過去の劣悪な精神科サービスに起因するものと思われる。精神科サービス提供者は、負の遺産を甘受し、患者さん自身やご家族が安心して満足して頂けるような丁寧な地域移行支援を心掛ける

しかない。本邦で先駆的な取り組みであったあかね荘も、いよいよリニューアル待たなしの時期にさしかかっている。リニューアル構想に關与するものとして、公益的視点に立ち、病棟転換型或いは敷地内居住施設の動きも睨みながら、患者さんやご家族に満足して頂けるものに行きたいと念じている。

二つ目は、解離性障害のことである。幻覚妄想があつてウット依存症か統合失調症か鑑別困難と紹介されてきたケースだが、症状レベルでは鑑別診断が困難であつたが、悲惨な被虐待歴と人格変容が確認できたことから解離性障害が本態であることが判明した。双極性障害で幾つかの精神科病院でECT含め治療に難渋し紹介されてきたケースでは、PTSD 過覚醒による頑固な不眠、夜間の人格交代、性虐待／宗教的虐待の病歴聴取等から、解離性障害を合併した双極性障害であると診断出来た。長年パニック障害として治療し続けてきたが、ある時記憶の空白や人格変容に気づいて、もう一度病歴を取り直して被虐待歴が確認できて、解離性障害の診断に到達できた。エピソード記憶が曖昧／人間違いされやすい／自室に見覚えのない物がある／日記が数種類の筆跡で記載されている／前回の診察内容を覚えていない等などがあれば解離性障害を疑って鑑別診断を進めて行くことになる。難治性の双極性障害や情緒不安定性パーソナリティ障害の中にも解離性障害が多く潜んでいる。診察場面での人格変換は気づかれやすいが、微妙な解離は認識されにくく一定の学習や修練が必要なかもしれない。解離性障害の患者さんの多くは悲惨な虐待を経験してきているが、被虐待歴を完全に忘れていたり、否認で虐待と認識

できてなかったりする。共感してくれる治療者や場所を求め苦悩し続けている場合も多く、治療者との信頼感が構築され突然語り出すこともある。沖縄戦／原爆 PTSD のサバイバー晩年になってやっと心の重い蓋を開けて語り出したとの報告はまさにそれである。トラウマに介入するにはタイミングが大切である、安全／安心感や治療者への信頼感が築かれていない状況では危険ですらある。機が熟するまでトラウマを敢えて扱わないという慎重な姿勢も大切である。トラウマ／PTSD に関してはかなり周知されたが、虐待がもたらす複雑型 PTSD ／解離性障害の治療に関しては、いまだ専門家の間でも認知されていない。発達障害は、療原の火の如く広がり、成人の精神

科臨床でも発達障害的視点は不可欠のものになった。同様に外傷性精神医学が明らかにしつつある虐待／解離性障害／複雑型 PTSD も精神科臨床にとって必須の視点だと私は確信している。世界中が安倍首相の戦後70年談話に注目している最中、元独大統領ワイツゼッカー氏の「過去に目を閉ざすものは現在にも盲目になる」という言葉がしばしば引用されるようになった。精神科臨床に於いて、虐待歴は聴取されなかったり、たとえ聴取されても過小評価されたり、治療に反映されなかったり、単なる心的現実として扱われたりすることが屢々である。患者さんの過去に真摯に目を向け心の叫びに耳を傾け、盲目にならないよう日々心掛けたいものである。

